

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名	防犯灯設置補助金						
[下段に制度概要を記載]	自治会等が自主的に設置する防犯灯を対象に要する費用の1/2を補助（防犯灯1灯あたり9,000円、専用柱1本あたり33,000円を限度）。環境配慮型防犯灯については2/3を補助（1灯あたり47,000円を限度）。						
款・項・目	総務費 総務管理費 市民生活費						
所属等	市民生活部 市民協働課 電話025-226-1102						

年 度		平成29年度（1年目）		平成30年度（2年目）		令和元年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	193,192	使 89,547	122,671	使 106,885	92,886	使 40,000
	決算(千円)	167,219	使 89,547	106,885	使 106,885	92,886	使 40,000
補助率	上記の制度概要を参照		上記の制度概要を参照		上記の制度概要を参照		
目 標	当該地域内及び当該隣接地域の夜間における犯罪を防止し、明るく住みよいまちづくりを目標とする。 <目標が数値でない場合の評価方法> 防犯灯の設置が進み、夜間、十分に人影を認識できるようになること。						
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯灯 8,262灯</li> <li>うちLED灯 8,258灯</li> <li>専用柱 141本</li> </ul> <p>補助申請を行った全ての自治会等に、要綱どおり補助金を交付</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯灯 5,137灯</li> <li>うちLED灯 5,133灯</li> <li>専用柱 119本</li> </ul> <p>補助申請を行った全ての自治会等に、要綱どおり補助金を交付</p>	<p>（見込み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯灯 4,500灯</li> <li>うちLED灯 4,500灯</li> <li>専用柱 80本</li> </ul> <p>補助申請を行った全ての自治会等に、要綱どおり補助金を交付の見込み</p>			
補助事業者による情報の公表	各団体の予算書又は決算書、会報等						

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 個々の自治会等が維持管理する防犯灯の数量はまちまちであり、補助額が5万円に満たない場合もあるが、本制度の目的である犯罪のない安心・安全なまちづくりと自治会等の負担軽減を図り、防犯灯が適切に維持管理されるよう、今後も必要な補助を行う。				
	<g～hにおける取組> 目標は数値化されていないが、本制度の目的である犯罪のない安心・安全なまちづくりと自治会等の負担軽減を図り、防犯灯が適切に維持管理されるよう、今後も必要な補助を行う。				
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること					
防犯灯についてはLED灯等の省エネルギー照明の開発・普及が進んでおり、地域からは導入支援の声が挙がっていたことから、平成23年度よりLED灯など環境配慮型の防犯灯については補助率を2/3へ引き上げた経緯がある。LED灯は耐用年数が長く、CO2排出量、電気使用量の削減にも効果があることから、市内防犯灯の全灯LED化を目指し、補助制度を継続していく。					